

### 第3回 三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区）会議録

○日 時 令和3年11月1日（月） 18時55分～19時46分

○場 所 三浦市民交流センター 研修室

#### ○次 第

1 開 会

2 議 事

（1）意見交換

意見交換1 令和2年度から3年度の経過と今後の地域協議について

3 事務連絡

4 閉 会

○出席委員（10名）

座長	後藤 克幸	座長職務代理者	札内 尚	委員	香山 賢一郎
委員	青木 広美	委員	内藤 幸成	委員	小川 哲男
委員	出口 悟	委員	山田 光雄	委員	柴谷 肇
委員	伊藤 修也				

○欠席委員（1名）

委員 杉田 理佳

○事務局（6名）

増井 直樹	教育部長	塚本 孝治	教育総務課長
高梨 真一	学校教育課長	矢尾板 昌克	政策部政策課長
ソリバン 薫	教育環境担当課長	長島 正紀	教育総務課 GL

◇座長　　こんばんは、昨年の12月以来となりますが、ただいまより「三崎地区の三浦市学校教育ビジョン地域協議会」を開催いたします。

杉田委員より欠席の連絡がございましたので、ご報告申し上げます。

委員については皆さん留任ということでよろしく申し上げます。

早速ですが、本日の協議内容として、令和2年度から3年度の経過と今後の地域協議について、意見交換をしたいと思えます。

はじめに三浦市学校教育ビジョンに関する経過について事務局より説明がありますので申し上げます。

◇事務局　　ご報告いたします。

それでは早速ですが、資料の1をご覧くださいと思います。7月の書面会議でも、これまでの経過については資料配布させていただいておりますが、別紙1はその配布資料と同じものです。この2つの資料で説明をしていきたいと思えます。

まずは資料1の令和3年3月の総合教育会議にて、「令和7年度を目途」としていた、1中学校区1小学校への統廃合は、「令和7年度にとらわれず、慎重に進めていく」旨、方針が示されました。

また、7月の議会では、具体的に保護者や市民の意見を聞く手段として、アンケート調査を実施し、「実情にあった学校体制を検討していく」としました。併せて、「段階的な統合も視野に入れていく」ともしています。

また、もう一つの重要課題としては、教育委員会が考える教育に関する課題のほかに、学校教育以外の課題については、市として対応する課題として、「庁内検討班を中心として検討を進めていく」としています。これまでの地域協議会でご意見をいただいている通学の問題について、長距離になることや、費用の問題についても、まとめていきたいと考えております。

そのほかに、資料1では、陳情書と反対署名について記載しておりますが、市内全域の反対署名は、5,748名となっております、そのほかに公開質問状なども提出されており、その質問と回答については三浦市ホームページで公開しておりますので、ご確認いただきたいと思えます。

報告は以上になります。

◇座長　　ただいま事務局より報告がありましたが、この件につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。

◇委員　　報道等を見ると「ほぼ白紙」になったという感じを受けたのですが、教育委員会としてはどう考えていますか。

◇事務局　　白紙という捉え方をしてらっしゃる方がおられると思えますが、学校教育ビジョンで示してきた「1学年複数学級の学校体制を目指す」という骨格的なところは変

わっていないと申し上げておきたいと思います。

その中でアンケートを実施して統廃合をすべき学校がある、統廃合は必要ではないなど、アンケートの結果を踏まえて見直しをしていきたいと考えております。

ただし、教育委員会としては「1学年複数学級の学校体制を目指すべきもの」だと考えております。現状のまま何もしないと、1中学校区1小学校の体制でないと1学年複数学級を設置することができなくなっていくと思います。地域協議やアンケートの結果を踏まえて学校教育ビジョンの見直しを図りたいと考えております。

◇委員 その上なのですが、約 6,000 名の署名が提出されたとのことですが、これは反対の意見だと思いますけれど、三浦市の人口が約 41,000 名として子どもの数を含めない場合は 35,000 名くらいとすると、かなりのパーセンテージの方が反対となると思います。このことを受け統廃合を進めていくためには、こういった方向性で、例えば反対の数が何名以下になったらなど考えがあればお聞きしたいのですが。

◇事務局 署名は約 5,700 名いただいておりますが、市内の方、市外の方も含まれております。年齢の記載はありませんので高齢の方からお子さんまで年代に関わらずいただいているものと推測され、その中に学校教育に直接関係する方は、署名の人数より少ないと捉えております。

しかしながら、この署名は受け止めなければならないと思います。そこで反対の方、賛成の方、中立の方それぞれ考えを持っている方がいらっしゃると思いますので、アンケート調査を実施して、その結果を参考にしたいと考えております。

◇座長 他にございますか。

◇委員 三崎地区は「小学校を存続する陳情書」とあり、南下浦地区は「小学校統廃合計画の見直しを求める陳情書」と少し言い方が違うのですけれど。これは何か意図があるのでしょうか。

◇事務局 陳情者に、名称について伺ってはいませんが、求められていることは同じ内容になっております。

◇委員 この署名に対して、学校やPTAに何か話があったか聞いていますか。

◇委員 私のところには特にありませんでした。

◇委員 私のところにもありませんでした。

この署名については、おそらく卒業生や市外の方、市外に出られた卒業生かもしれませんが、私は学校教育に関わっている方はそれほど多くはないのだと思っています。

この後、アンケートの話になると思いますが、今日はアンケート自体はないですか。

◇事務局 本日はアンケートの概要だけで、アンケートのたたき台になるものを次回以降お示ししたいと思います。

◇委員 アンケートについては次回以降審議されるものですか。

◇事務局 協議会のご意見をいただいて作っていきたいと考えております。

◇委員 アンケートはとり方で変わってきますのでよく精査していただきたいと思えます。

◇座長 他にございますか。

◇委員 先ほど話のありました「白紙に戻すのではないかと」と、そのように感じられている方が多いのではないかと。またそういう捉え方で事前に陳情書が出されて、その結果としてそのようになったのではないかと、議会での市長の発言なども。

以上のことをベースにアンケートが実施されると思いますので、先ほどの1学年複数学級は譲れない、となると話が変わってきてしまうのではないかと。思います。

なので、その辺を明らかにして、保護者にしても市民にしても同じレベルで納得の中でアンケートを取るようにしないと、今のままでは「捉え方のニュアンスが違うまま」アンケートに回答してしまうことになるのは、おかしいのではないかと。思います。

もっと市民も含めて同じレベルで、納得する学校教育ビジョンをアナウンスしなければならぬと思います。

もうひとつ、学校教育ビジョンの議論をしているわけですが、学校教育ビジョンというのは「こういう教育をしたい」「こういう子どもたちを育てたい」ということが学校教育ビジョンだと思うのですが、現在の学校教育ビジョンが「学校の運営の仕方」と捉えられることがあるのです。そこも違うと思うので、「子ども達のことを考えて、このようになればいいのではないかと」捉えている方と「学校は複数学級にするために人数を多くしなければいけないので、統合しないといけないよね」と捉えている方がいると思うのです。

◇事務局 学校教育ビジョンについては「こういった子どもを育てたい」という子ども像をはじめにお示ししています。その後に、そういった子どもを育てるために「1学年複数学級が必要ではないか」「小中一貫教育が必要ではないか」ということをビジョンとして掲げております。その後に方法論として「令和7年度を目途に」ですとか「1中学校区1小学校の学校体制を目指す」と記載してございます。いろいろなご意見の中では「令和7年度を目途に、1中学校区1小学校の学校体制を目指す」、ここにご意見をいただいていると感じております。そちらばかりクローズアップされてしまい、私たちが考える「こういった子どもを育てていく、育てて欲しい」というところに焦点があたらなかったのかと考えており、そちらは教育委員会としての伝え方は少し足りな

かったのではないかと考えております。

今後の見直しを市民の中では白紙と捉え、「新たに学校教育ビジョンを作るのではよう」と思っている方もおられるということは承知しております。

私どもとしては「育てたい子ども像」は変わらないと思っています。そのためには1学年複数学級は必要ではないか、と思っておりますので今回のアンケートでその考えをいま一度確認させていただきたいということでもあります。

そのアンケートを実施するにあたって、先ほど委員からの「根本的なことが分かっていないと捉え方が変わってくる」とご指摘がありましたので、みなさんの意見もお聞きしながら、伝え方については慎重にお伝えしていきたいと思っております。

◇委員 昨年度の協議会での話に戻ってしまうところもあるのですが、ビジョンの目指しているものは出されています。そこには複数学級が記載されています。それでは「少数ではダメなのか」ということが記載されていません。

少数で行っていくにはどうしたらいいか、その検討がなされていない。現状維持していくにはどうしたらいいかが書かれていない。複数学級ありきになっていると思います。

◇事務局 はじめから複数学級ありきと考えていたわけではなく、目指すべき子ども像となった時に複数学級が必要ではないか、多くの友達と触れあえる環境が必要だと考えたのですが。

◇委員 昨年度の協議会資料で、少人数クラスと多くの人数のクラスの比較表がありましたが、こうだから少人数が良い、こうだから多くの人数が良いという検証、また三浦市ではそのことが出来るか出来ないかについては、入っていないわけです。

署名が多く集まったわけですが、学校を統廃合しないで少人数ではどういう風にしていけばいいか、という検討はされていないと思います。検討した上でこうでした、というものがあって市民に伝えられていけば、選択の幅などが広がっていくし、納得も得られるのではないかと思います。そういったことがなくて、複数学級を目指すとしているため、市民の中に慌てて学校を残してほしいという運動が起きているのだと思います。また、見直しの発言を受けて、白紙だと思っている方がいるのだと思います。

ですから、もっと細かいところで親切に説明して、アンケートを取るならばいいのですが、目指している姿の検討をして本当にこれしかない、となってアンケートを取れるかどうか、その部分が足りないのではないかと思います。

◇委員 たしかにアナウンスは下手だと思います。

おそらく、報道等では見直しをします、と載っています。逆を言えば撤回します、とは載ってなく、皆さん自分の良いほうで受け止めますので、その辺がはっきり伝わっていないと思います。見直しはするけど撤回はしない、ということは伝わっていない。

陳情書にしても、ここまで理解して署名している方は少ないと思います。

伝わっていない方には伝わっていないと思います。私たちはこういう会議に出ていますし、説明会にも出ているので、出られなかった方には伝わっていないと思います。

ただただ思っただけで署名している方が多いと私は捉えています。

◇事務局 この場で、アナウンスの仕方や皆さんにこういった説明をしていくことをお答えできませんが、次回の会議までにその部分も考えて、アンケートを実施する前の取組みをお示ししたいと思います。

◇座長 アンケートのことも検討しなければいけないと思いますので、三浦市学校教育ビジョンに関するアンケート（素案）について、併せて今後のスケジュールを一括で事務局より説明をお願いします。

◇事務局 現在、学校教育ビジョンについては、進むことはなく立ち止まっている状況だと思います。立ち止まって市民の意見をお聞きしようという中でアンケートを実施して、市民の声を再度確認した上で複数学級がいいのか、単学級でも十分な教育ができるのか、そういったご意見を伺って統廃合をどうすべきかの判断材料とさせていただきたいと考えております。アンケートの内容については、協議会でのご意見もお聞きしながら実施したいと考えております。本日はアンケートの概要について説明させていただき、具体的なところは次回以降伺えればと思います。

それでは資料2をご覧ください。

小学生をお持ちの保護者と、未就学児の保護者向けのアンケートとしています。

これと併せて、教職員向けのアンケートを合算すると約2,600名を対象としたものになります。

なかなかイメージがわからないと思いますが、アンケート設問のたたき台を次回の地域協議会ではお示ししたいと思いますので、ご協力をお願いしたいと思います。

スケジュールは、年度内に実施する場合の想定で記載してございます。10月の地域協議会が対面となっておりますが、これは会場の都合等で、本日開催の地域協議会のことでございます。スケジュール実施に向けて、丁寧に進めていきたいと思っております。

学校教育以外の部分では、スクールバスを持った場合など通学手段についてもまとめていきたいと思っております。

説明は以上となります。

◇座長 調査の目的、方法、期間、内容が記載されておりますが、いまの説明についてご質問等ございますか。

◇委員 一般市民へのアンケートが記載されていないのですが、なぜですか。

学校に今いる方たちは、数年すると出て行ってしまいます。未就学児の保護者の方は、まだよく分からないのではないかと思います。

学校を利用している方というのは、保護者だけではなく一般の市民の方もいると思いますが、載せていないのはなぜですか。

◇事務局 まずは教職員と保護者の方を実施させていただいて、市民向けには令和4年

度以降に実施することを想定しております。まずは教職員と保護者を考えております。

◇委員 それはなぜですか。

◇事務局 まずは保護者が主役だと思っております。

◇委員 5、6年生の保護者は2、3年、1年生の保護者でも6年後にはいなくなってしまうのですが。

◇事務局 お子さんをお持ちの保護者の方の意見は、大事にしたいと考えております。学校教育に関わっている年代の方の意見は重要だと考えます。

◇委員 それは年配の方も、自分の子どもや孫との関りや学校に対して利用したりもあると思うのですが。市民の声が入ってこないというのは、体育館やグラウンドを利用している市民、避難所として利用する市民、学童として利用している市民、といろいろな利用がされています。

学校は、地域と地域住民と一緒にという話もさせていただいたと思いますが、今の話だと学校だけ、学校の保護者だけのように聞こえてしまいます。

◇事務局 まずは、学校教育を第一に考えるべきだと思っております。

◇委員 保護者に聞くことをNOと言っているわけではなく、なぜ市民に聞かないか、差別化するのかなんです。

また、先ほど令和4年度に市民アンケートをするかもしれない、とおっしゃっていたので、最初から対象外だと感じてしまいます。

◇事務局 令和4年度にするかも、との説明につきましては市としては、予算の関係がございまして、そのような発言となってしまいました。

地域協議会の中で、やはり市民の意見を聞くことが必須となることは十分想定しておりますので、実施する方向で事務は進めております。

まずは保護者の意見をお聞きして、その後に地域の方の意見をお聞きする、と考えております。

先ほど差別化とのご意見もありましたが、他の委員さんはどのようにお考えでしょうか。

◇座長 他の委員さん、ご意見あればお願いします。

◇委員 保護者の意見とその他の市民の方の意見が、まったく反対となった場合はどうなるのでしょうか。

◇事務局 そのことは十分に検討しなければならないと思いますが、教育委員会としては、どちらの意見をというのは難しいところですが、学校は子ども達を育てていくところですので、子ども達を育てている保護者の意見は重いものだと考えております。

◇委員 私としては、地域の方には学校としてもPTAとしてもお世話になっていきますので、アンケートは必要だと思っています。

ただ、実情学校に関係している保護者としては、まず保護者、未就学児の保護者にアンケートを取ってからと話していただいたのは、非常にありがたいです。

なぜかという、現在子どもが通っている保護者からアンケートを聞いてみよう、先ほどの市民へのアンケートはするかもという発言がいけないと思いますが、市民へのアンケートはしてくれると思います。

三崎中学校と上原中学校の統合の時に話を聞いていますが、「学校がなくなるのがさみしい」ですとか、子ども達のことを考えてくれない意見が非常に多かったです。

そのようなことも知っていますので、まず保護者、未就学児の保護者からアンケートをしていただけるのは非常にありがたいですし、是非そうしていただきたいと思っています。

その後に三崎地区と南下浦地区とでどうなるか分かりませんが、市民の方にアンケートを取っていただけるのならば、あくまでも参考とする数字として必要ではないかと思っています。

◇委員 やはり保護者の方の意見は聞きたいと思っていますし、「育てていかなければいけない子ども像」という話も研修等で色々聞きます。そのためにどうしたらいいかを、試行錯誤して頑張っているところです。そうなったときに地域の方に色々していただいていることも事実で、感謝しているところですが、地域の方たちに説明は必要ですけども、目の前の子ども達をどうやって育てていけばいいかと考えると、保護者の方のご意見をまず聞きたいですし、教員へのアンケートもとっていただけるということなので、そこで「子ども達の育てなければいけない力」も考えながらいけば進めやすいのではないかと思います。

地域の方の意見をないがしろにするわけではありませんので市民へのアンケートはしたほうが良いと思います。

順番は保護者、教員、地域の方の順でいいのではないかと思います。

◇委員 市民のアンケートについては、全員が対象ですか。

◇事務局 抽出で考えております。

◇委員 抽出の方法はありますか。

◇事務局 無作為抽出を考えております。

統計学上での有効性がある人数での抽出を考えております。

◇委員 学校は、子ども達に力をつけるところだと常々考えており、力をつけるにはどうするか、そこの部分は学校の規模もそうですし、教育の力もそうですし、地域の協力も得なければならないこともそうです。

ただ、子どもも減ってきて先が見えている状況があり、そのうち複式学級も考えなければなりません。来年から複式学級になります、となった場合にそれから考えるのは大変な状況になります。そのための学校教育ビジョンだと思っています。そのためにも十分に検討していく必要はあると思います。

統合については様々な意見があり「私の学校をなくすのか」という思いは強いと思います。その方たちにも「子ども達にこういう教育を受けさせたい」という説明をしていく必要はあると思います。

◇委員 この話が出てから「自分の子どもを学校に通わせるときに、かなり遠くに通わせなければならない。だから自分は横須賀に引っ越します。」と実際に横須賀に引っ越した方がいました。ですから、いずれにしても何か早く動いていかないと、より一層人口が減ってってしまうのではないかと感じています。

◇座長 次回は、アンケートの素案が出されるということでもいいですか。

◇事務局 はい。

◇座長 アンケートについては、何回か協議が必要になるかもしれませんね。  
南下浦地区の協議会はいつですか。

◇事務局 今週の木曜日（11月4日）になります。  
ここでご提案ですが、三崎地区と南下浦地区でアンケートの内容が違うわけではありませんので地域協議会の持ち方として三崎と南下浦合同で行いたいと考えていますが、委員さんのお考えはいかがでしょうか。

（「賛成の声あり」）

◇座長 合同も考えられるということですね。

◇事務局 合同での開催を視野に日程、会場を考えたいと思いますので、改めてご連絡しますのでよろしくお願いします。

◇座長 資料のスケジュールは、年度内に収める場合でのスケジュールですね。

◇事務局 はい。協議の進み方によっては、来年度に続いていく場合もあります。

- ◇座長 来年も引き続き同じ委員にとうともありうるわけですね。
- ◇事務局 アンケートの実施、集計、分析までお願いできればと思っております。
- ◇委員 委員の留任の話なんですけれど、先ほどの署名の話でPTAには話がきていなかったとありましたが、現在自分はPTAの会長ではなく、小学校に子どももいないため直接聞くことが難しくなっていました。
- ◇座長 三崎地区は、前年度から委員の皆さん残っていただいています、南下浦地区は何名かわっているということなので柔軟に考えていくということでもいいですか。
- ◇委員 提案ですが、現在PTA会長ではなくなっている方もいますので、次回の協議会は、現在のPTA会長に聞いてからだと思いますが、2名体制でもいいかと思しますので、少し考えてあげてもらえませんか。
- ◇事務局 うまく引継ぎができるように、無理のないようにご参加していただけるようにしたいと思います。
- ◇座長 まだご意見がある方もいるかと思いますが、時間の都合もありますので終了とします。  
続いて事務連絡があればお願いします。
- ◇事務局 南下浦地区の委員の皆さんにお聞きしてからとなりますが、今回は合同での開催を予定したいと思いますので、よろしくお願いします。日時と場所は決まり次第ご連絡します。
- ◇座長 それでは以上で第3回三浦市学校教育ビジョン地域協議会を閉会いたします。  
お忙しい中、ありがとうございました。

---

◇ 19時46分 閉会 ◇

---